

- 令和7年8月7日からの大雨において、熊本県等からの要請により、土砂崩落状況、孤立集落の確認、砂防施設の被災状況調査を実施するため、熊本県、天草市、上天草市、宇城市、美里町、甲佐町の被災現場（計14箇所）にTEC-FORCE ドローン班を派遣した。（3班、11人、延べ41人日）
- 上空からの被災状況映像、写真を取得し、作成した三次元点群データ・スカイバーチャルツアー等を、関係自治体へ提供した。



【共有した情報】

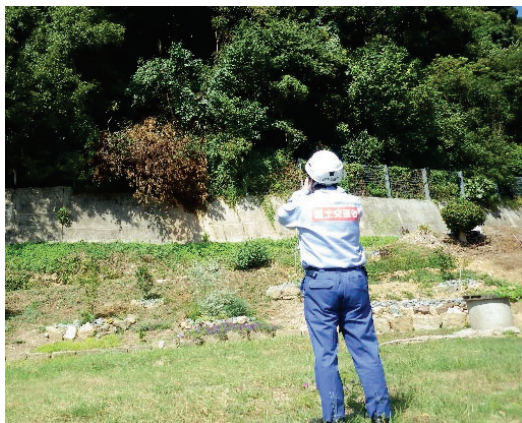
- ① 上空からの写真・動画
- ② スカイバーチャルツアー
- ③ SfM※で作成した三次元点群データ

※SfMとは、Structure from Motionの略語で、複数の写真から対象物の三次元モデルを作成する技術のこと



- 福岡県宗像市より、世界遺産である宗像大社の被災に対し技術的支援を求められたため、整備局から職員4名を派遣し、点群データ取得・バーチャルツアー作成を行い、文化庁・福岡県・宗像市による関係機関へ被災状況を説明した。
- また、宗像市大島の一般被害についても被災状況調査を求められたため、点群データ取得・バーチャルツアー作成を行い、資料を提供した。

宗像市への支援 (9月3日、10日)



▲被災状況調査 (宗像大社 辺津宮)



▲360° カメラの利用状況



▲文化庁等への説明



▲点群データ(PIX4D)



▲バーチャルツアー(Matterport pro3)



▲宗像市大島の被災状況調査



▲合同現地調査(宗像大社 中津宮)



- 大雨で通信障害が発生した「**熊本県上天草市役所松島庁舎**」の通信確保のため、九地整所有の衛星インターネット装置（スターリンク）を無償貸与
- 「**熊本県天草市**」より、避難指示解除の判断に向け助言を求められたため、TEC-FORCEアドバイザー（熊本大学棕木教授）によるヘリ上空調査を行い、天草市に対しコメントを送付。

上天草市への支援

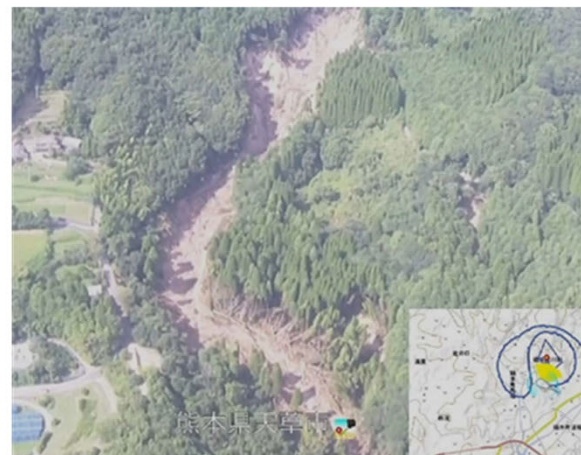


TEC-FORCEによるスターリンクの設置
(令和7年8月12日14時頃)



▲Starlink本体

天草市への支援



被災状況
(熊本県天草市栖本地区)



本部と映像を確認しながら
リアルタイムで情報を共有

【TEC-FORCEアドバイザーの見解】

- ・土砂崩壊については、谷筋の両脇から立木が吸い込まれるように流れている状況である。
- ・崩壊始点から終点(別図の「下流住居(想定)」までの勾配が概ね10度であり、その先(集落まで)が15度と緩勾配であることを事前に確認した上で現場に入った。
崩落先端はヘリから見た状況ではフラットで流木が流されるにはエネルギーが足りなくて止まったと思われる。

- 熊本県氷川町より、災害申請についての相談や技術的な助言を求められたため、整備局から職員2名を派遣し、町役場にて災害査定の流れや「災害復旧技術専門家派遣制度」の活用、簡素化査定等についての説明を行った。(9月9日)
- 後日本省防災課と熊本県が実施した「災害復旧技術専門家派遣制度」を活用した専門家の現地派遣に同行し、点群データ取得・バーチャルツアー作成を行い氷川町へ提供した。データについては今後の査定時の説明に活用する予定としている。(9月17日)

氷川町への説明 (9月9日)



▲説明資料



▲氷川町へ災害査定の説明

氷川町被災調査の支援 (9月17日)



▲バーチャルツアー(Matterport pro3)



▲360°カメラ
(カメラポール取付け)



▲氷川町から災害復旧専門家への相談

- 熊本県宇城市より、災害復旧工法やマネジメントについて相談を受けたため、災害復旧技術専門家とともに熊本河川国道事務所から職員3名を派遣し、過去の災害対応事例や災害復旧技術専門家の派遣制度等について説明を実施した。(9月19日)
- 熊本県美里町に整備局(建政部)から職員5名を派遣し、被災後の堆積土砂排除事業等の制度説明や技術的助言、町長・担当職員等との意見交換を行った。(10月1日)

宇城市への支援 (9月19日)



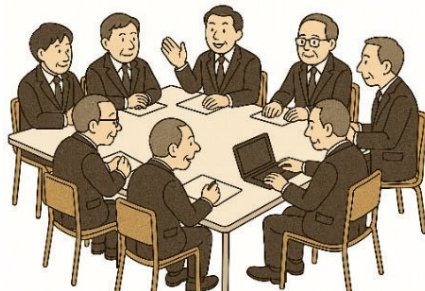
▲宇城市TEC被災調査状況



▲宇城市TEC被災調査成果
(ドローンによる点群データ)

【参加者】

宇城市: 末松市長、天川副市長、
平木土木部長
熊本河川国道事務所: 事務所長、
河川技術副長、道路技術副長
地域づくり協会1名
災害復旧技術専門家1名



美里町への支援 (10月1日)



▲被災地の現状

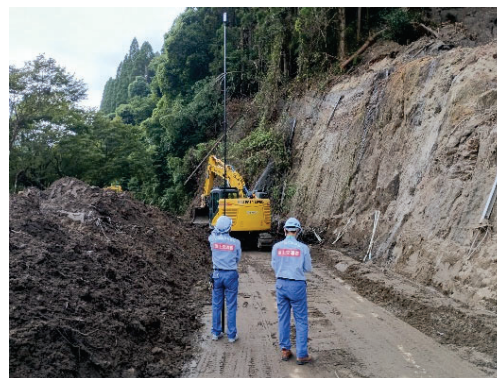


▲撤去土砂の一時堆積状況

- 8月8日～9日の大雨により被害が甚大であった鹿児島県霧島市・始良市では、8月25日～26日に本省災害査定官が災害緊急調査のため現地入り
- 九州地方整備局TEC-FORCEは、当該調査に合わせて災害緊急調査箇所にて点群データを取得、3次元バーチャルツアーを作成し、県・市へ提供
- 県・市では、災害復旧の迅速化を図るべく、提供した点群データを簡素化査定の申請に活用



災害査定官による災害緊急調査



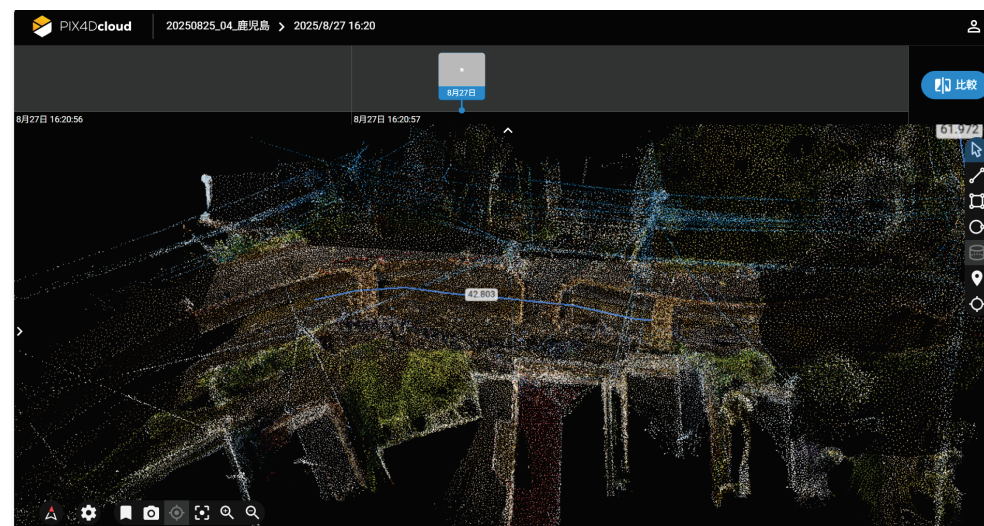
360°カメラによる状況調査



3次元バーチャルツアー



災害緊急調査箇所



点群データの作成